

浅野文庫等施設（仮称）整備に係る基本設計について

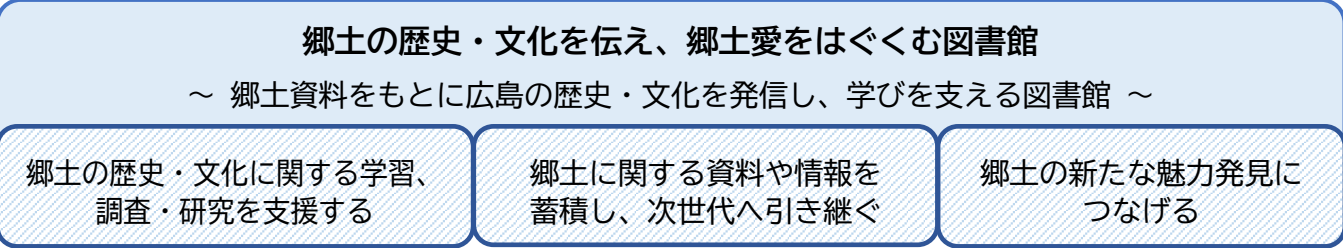
1 事業概要

(1) 趣旨

浅野家から寄贈を受けた資料である浅野文庫資料や、広島ゆかりの文学者の自筆原稿や書簡等である広島文学資料、その他の貴重な古文書等の保存・継承や調査・研究、資料収集、展示、図書閲覧等を目的とする郷土の歴史と文化の専門図書館（以下、「新図書館」という。）を「浅野文庫等施設（仮称）整備基本計画」（令和6年4月策定）に基づき整備する。

(2) 浅野文庫等施設（仮称）の目指すべき姿

新図書館のコンセプトは、「広島市立図書館再整備方針」（令和4年12月策定）に掲げた「誰もが学び、憩う『平和文化』の情報拠点」を踏まえるとともに、次に掲げる姿を目指すこととする。



(3) 主な諸室の構成及び機能

区分	主な機能
収蔵エリア	浅野文庫等を収蔵する第一収蔵庫と広島ゆかりの作家の貴重資料及び古文書等を収蔵する第二収蔵庫を整備する。
閲覧・研究エリア	郷土資料や歴史専門資料等を収蔵する専門図書館として、利用者が調査・研究に利用できる閲覧・レファレンス空間を整備する。
展示・活動エリア	広島の近世から現代までの歴史を体系的にたどりながら、広島の歴史や広島ゆかりの文学者たちを紹介し、広島の郷土文化に対する知見を深めるための展示スペースを整備する。また、広島の歴史・文化に興味を持ってもらうための講座や講演会などを開催できるセミナー室を整備する。
事務・管理エリア	職員が管理運営に必要な事務作業を行うための事務室などを整備する。

(4) 整備場所

整備場所	中区上幟町	敷地面積	約 1,900 m ²
------	-------	------	------------------------

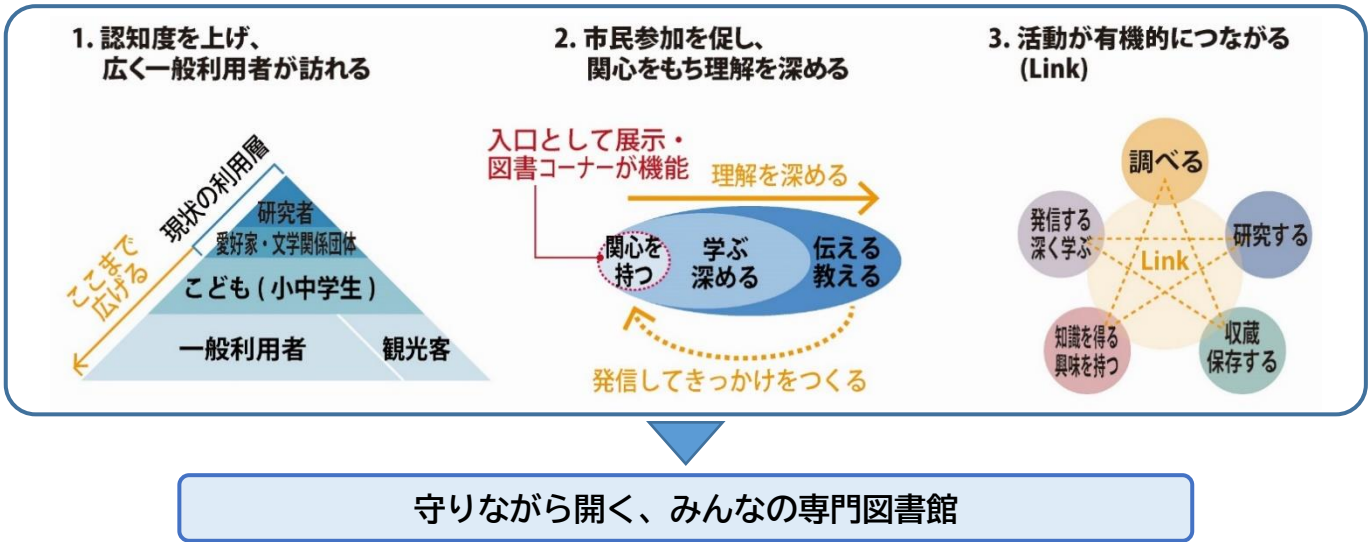
(5) 事業スケジュール

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
建築工事等	●	●	●	●	●	●
開館準備等					●	●

2 基本設計（案）について

(1) 設計コンセプト

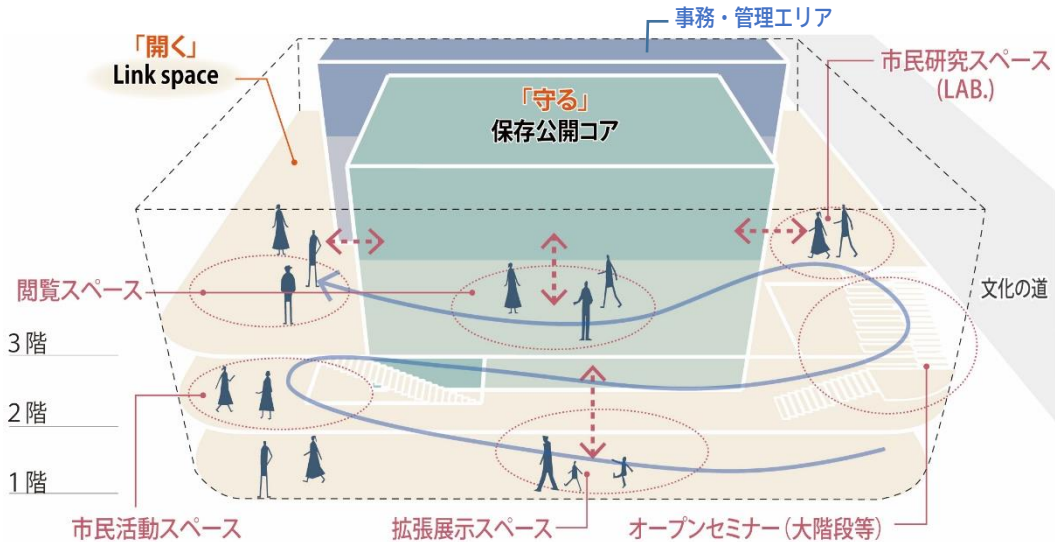
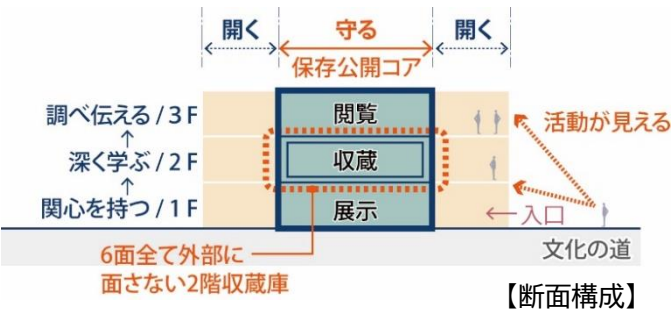
新図書館の基本・実施設計業務については、簡易公募型プロポーザル方式の手続きを行い事業者を選定した。設計コンセプトについては、事業者からの提案に基づき、以下のとおりとする。



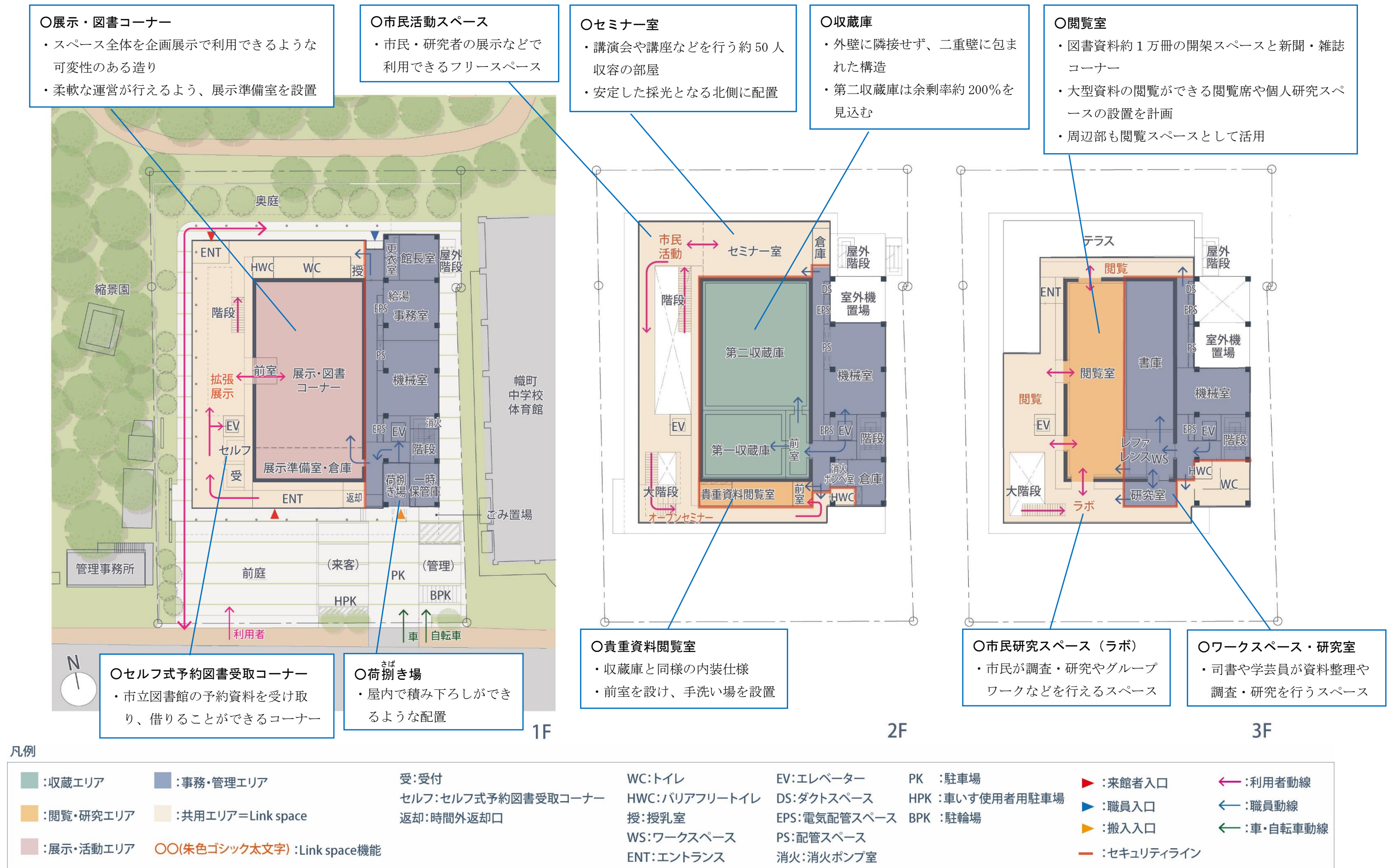
(2) 設計のポイント

貴重な資料を良好な環境で守る「保存公開コア」と活発な活動の場としての「Link space」（リンクスペース）

- ・収蔵庫、展示・図書コーナー、閲覧室を建物の中心部にまとめ、鉄筋コンクリート構造で囲むことで資料を良好な環境で守る（「保存公開コア」）。
- ・収蔵庫は2階に設置し、全周外部環境から完全に遮断する。
- ・「保存公開コア」の周囲の共用スペースを「Link space」とし、多様な学びが行える場とする。



(3) 平面計画



(4) 配置計画

- ・新図書館は「文化の道」に接していることから、「文化の道」との結節点としての前庭を設け、憩いの場や屋外イベントスペースとして活用することができるよう計画する。
- ・また、縮景園と隣接していることから、透過性のある仕様の塀とすることにより、縮景園の豊かな景観を本図書館からの展望に生かした計画とする。



(5) 立面計画

- ・軒下や格子が生み出す深い陰影などの「和」を感じる要素を取り入れる計画とする。
- ・外装は、耐久性に優れたコンクリート化粧打放しとガラスを基調として計画する。
- ・収蔵エリアが主となる2階については、日射制御のためのルーバーの設置を計画する。

【イメージ図】



南側前景



北側前景

